

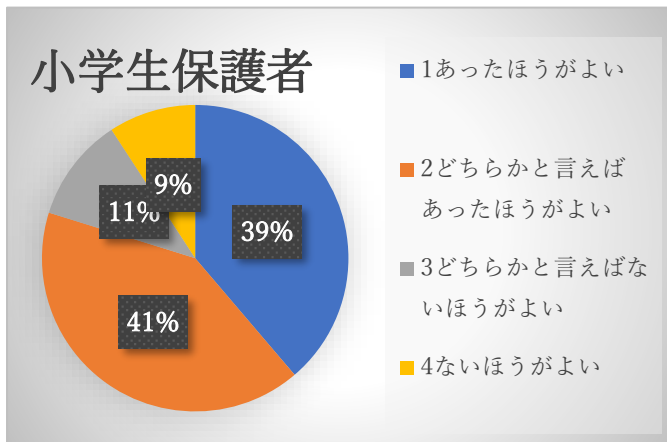
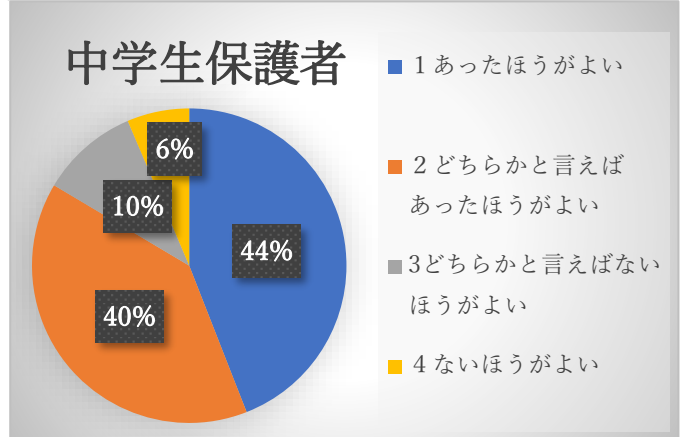
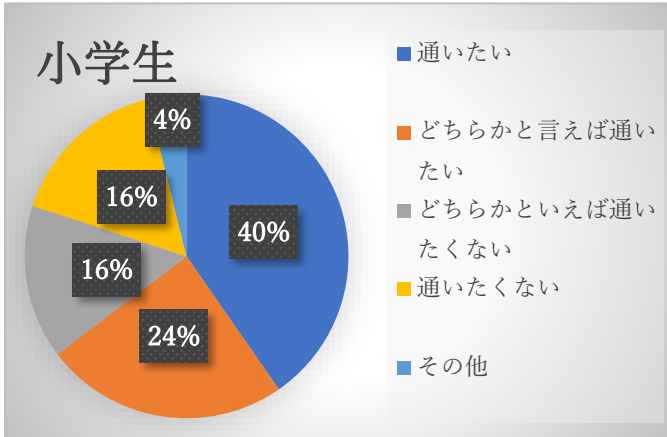
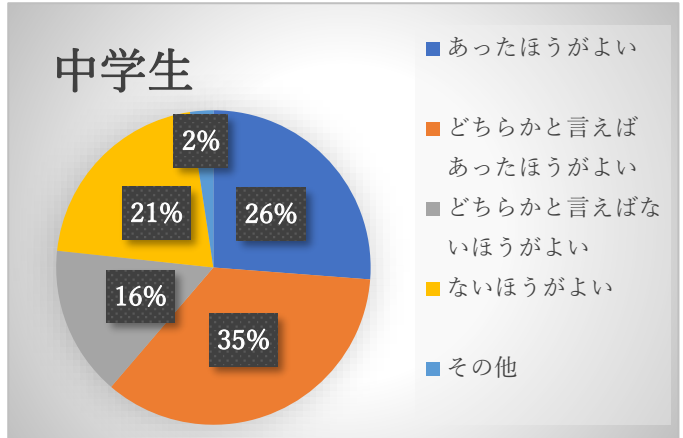
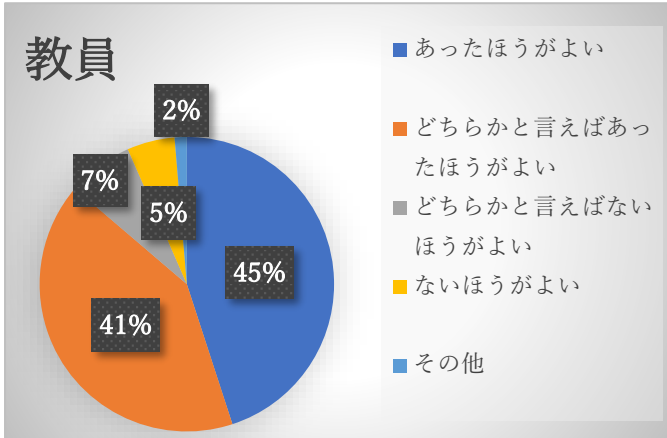
中学校制服について

1 アンケート結果

回収率：教員 87.7%、中学生 79.5%、小学4～6年生 93.8%

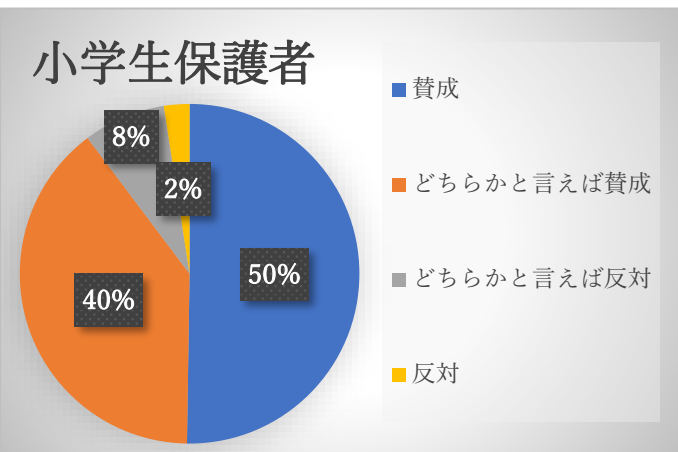
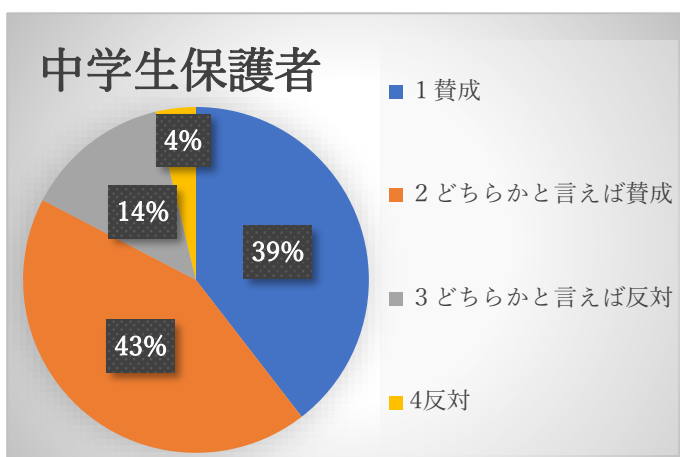
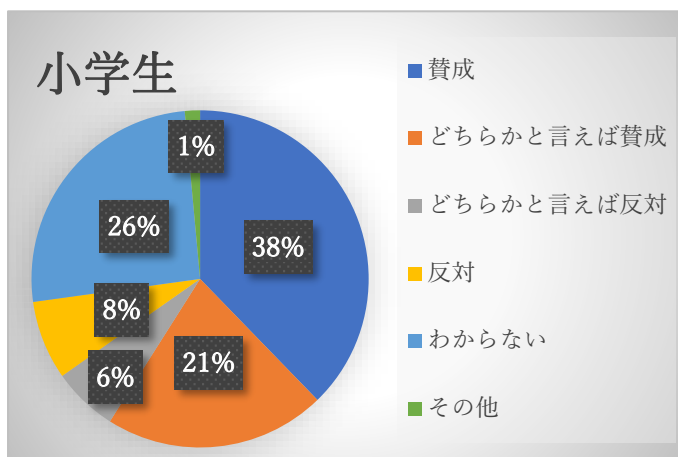
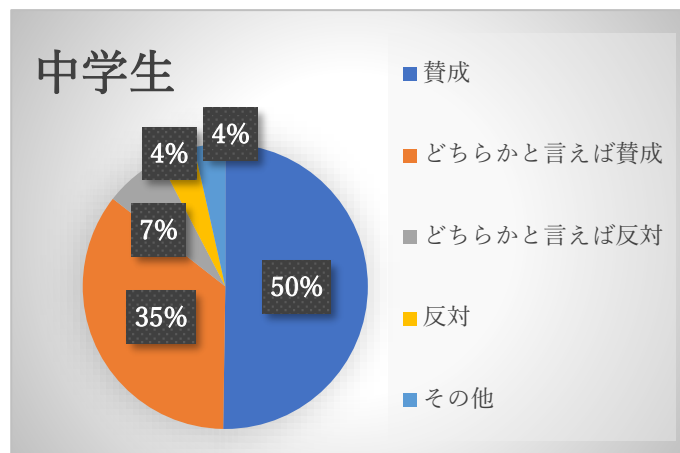
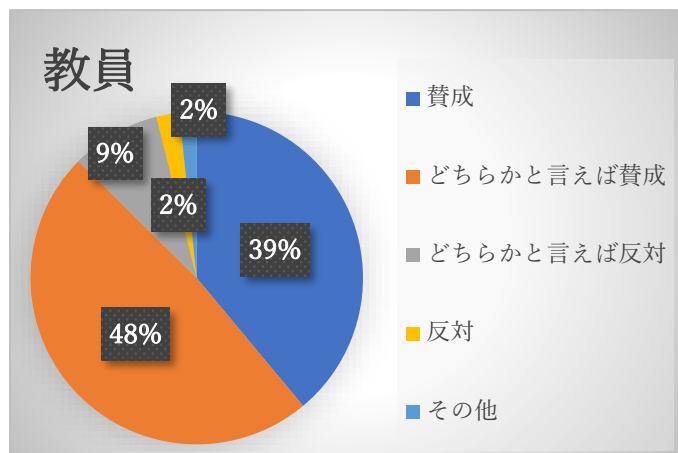
中学生保護者 66.6%、小学生保護者 68.8%

①「中学校には何らかの制服があったほうがよいと思うか」「中学校へは制服で通いたいか」



・大人はあったほうが良いという意見が8割以上
 ・子どもはあったほうが良いという意見が6割強
 ⇒詳細分析は、別紙参照

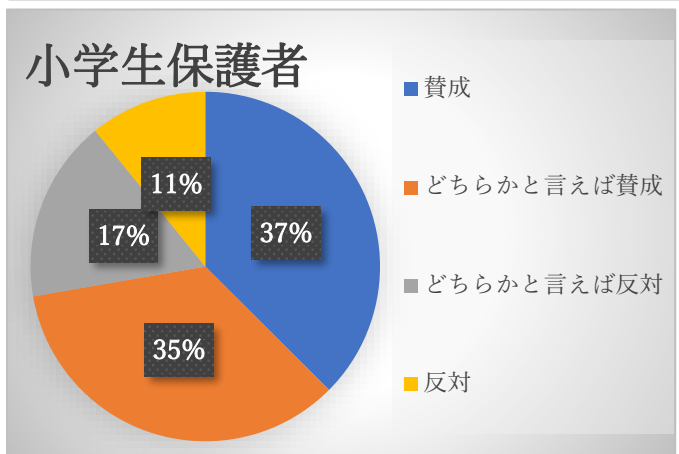
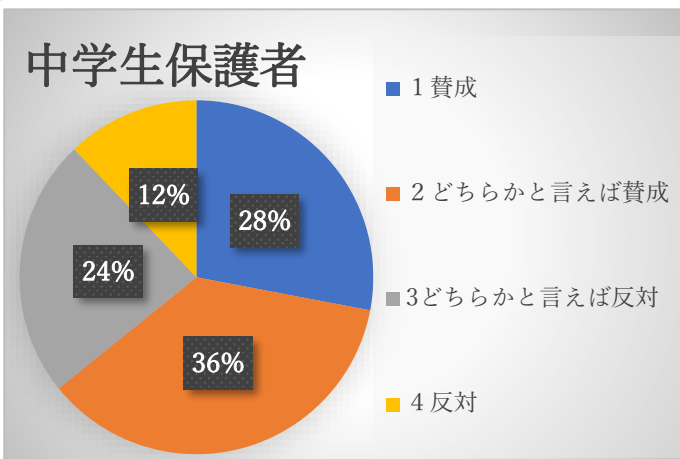
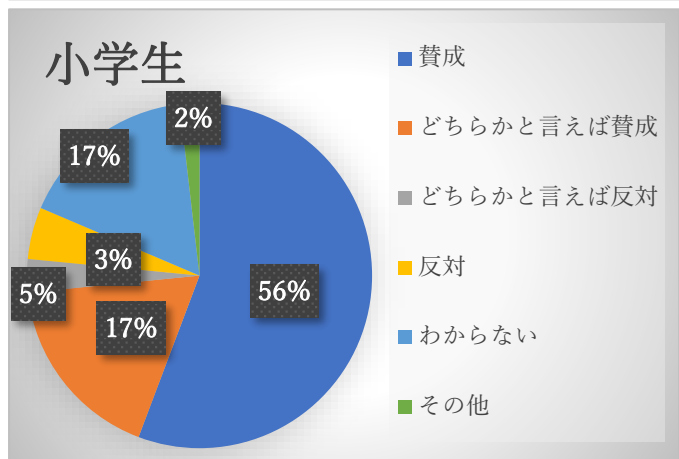
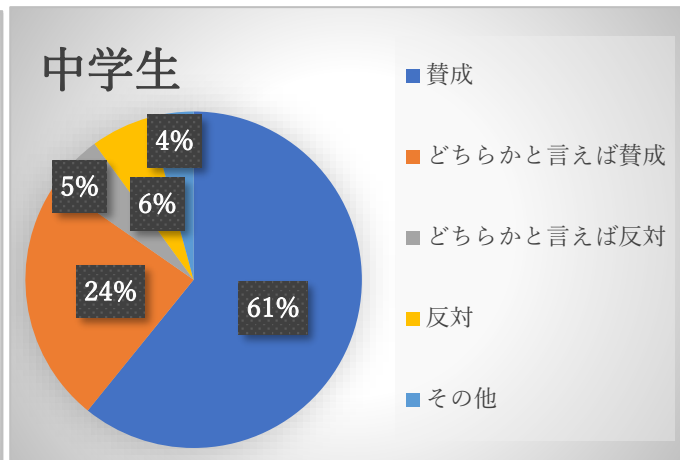
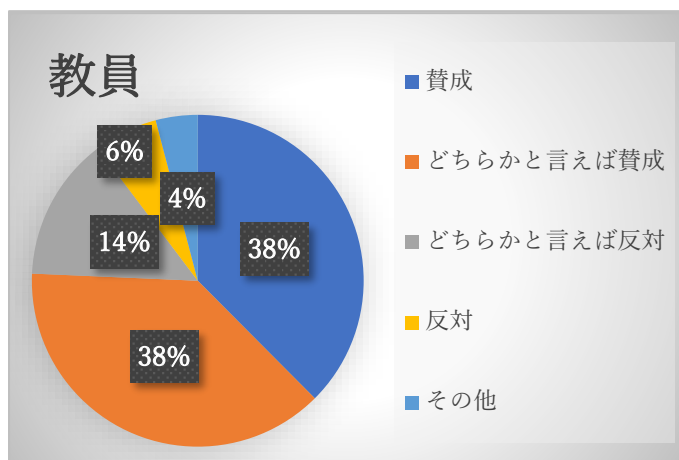
②「中学校制服を見直すことについてどう思うか」



- ・小学生以外は賛成意見が8割以上
- ・小学生は賛成意見が6割弱なもの、わからないが26%あり、反対は14%。
- ・小学生の賛成が少ないのは、まだ実感がわかない可能性が高いと思われる。

⇒中学校制服は、見直す方向で検討する。

③「既存の制服に加え、ブレザースタイルなどの新しい制服を第3の制服として導入し、個々の希望に沿った選べる制服にすることをどう思うか」



- ・中学生保護者以外は賛成意見が7割以上
 - ・中学生保護者の36%、小学生保護者の28%が反対しており、その理由として、「新規に購入するのは経済的負担が重い」「使用頻度が少ないので必要ない」等となっている。
 - ・同種のアンケートをした一宮市では、53%が当初は反対していたものの、既存の制服は引き続き使用可能、現行の制服と価格が変わらない場合での再アンケートでは、反対は9%になっている。
 - ・既存の制服はそのまま使えること、現行の制服と価格が変わらない方向性であれば、ご理解を得られる可能性がある。
- ⇒中学校制服は、既存の制服に加え、第3の制服を導入して、選べる制服にする方向で検討する。

2 具体的に、どのような制服を新たに導入すべきか？

※今回のアンケートで、既存の制服の課題を複数あげてもらった結果は次の通り

気温に合わせて調節ができない	19～17%
動きにくい・きゅうくつ	18～12%
夏場は体操服登校ができるため、制服を使うことが少ない	18～11%
高価である	17～9%
女子のパンツスタイルがない	17～7%
着心地が悪い	12～5%
デザイン	10～6%
選択肢が少ない	8～4%
自転車に乗る時に危ない	4～1%
耐久性	3～1%

※複数回答可

⇒機能的側面、経済的負担、時代性の課題を解消する制服を導入し、同時に、夏服の必要性の検討など、中学校制服の運用方法（＝校則）の見直しについて、中学校と連携して進めます。